

令和5年度 決算を報告します

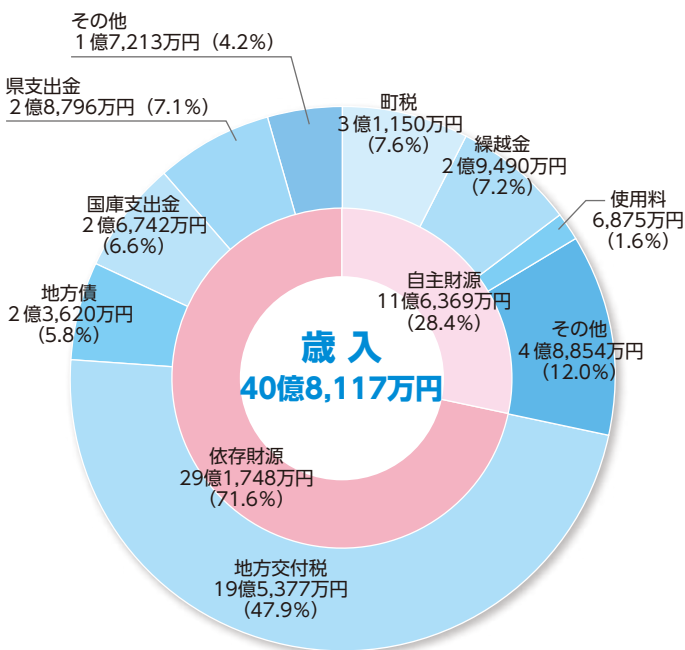
令和5年度一般会計等決算は、令和6年第3回町議会定例会で認定されましたので、概要をお知らせします。

◆決算の概要

※計数は、万円未満額を四捨五入しており、各欄で整合がとれない場合がある。

| 会計名 | | 歳入 | 歳出 | 差引 | |
|------|---------------|------------|------------|-----------|----------|
| 一般会計 | | 40億8,117万円 | 38億3,672万円 | 2億4,445万円 | |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 4億3,616万円 | 4億2,004万円 | 1,612万円 | |
| | 後期高齢者医療 | 1億3,606万円 | 1億3,360万円 | 245万円 | |
| | 東栄診療所 | 3億6,083万円 | 3億4,178万円 | 1,905万円 | |
| | 各財産区 | 41万円 | 15万円 | 26万円 | |
| 企業会計 | 簡易水道事業 | 収益的収支 | 2億554万円 | 1,159万円 | |
| | | 資本的収支 | 2億599万円 | △5,952万円 | |
| | 特定環境保全公共下水道事業 | 収益的収支 | 1億6,132万円 | 1億4,930万円 | 1,201万円 |
| | | 資本的収支 | 1億6,781万円 | 1億9,758万円 | △2,977万円 |
| | 農業集落排水事業 | 収益的収支 | 4,393万円 | 4,225万円 | 167万円 |
| | | 資本的収支 | 535万円 | 919万円 | △384万円 |
| 合計 | | 58億1,616万円 | 56億168万円 | 2億1,448万円 | |

◆一般会計決算の状況



一般会計決算の概要

歳入は40億8,117万円で、前年度に比べ1億3,680万円の減、歳出は38億3,672万円で、前年度に比べ8,635万円の減となりました。

歳入歳出差引から翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は、2億2,300万円の黒字となりました。

●歳入

自主財源は、固定資産税、軽自動車税の微増により、町税が前年度に比べ増加しました。

地方交付税や地方債、国庫や県支出金などといった依存財源は歳入全体の71.6%を占めており、依存型の財政構造となっています。

地方交付税は前年度に比べ、2,158万円増加となり、依然として歳入全体の約半分を占めています。

国庫支出金は前年度に比べ、6,608万円の減となりました。感染症法上の位置付けが変更したことに伴い、新型コロナウイルス感染症関連の補助金が減少したことが影響しています。

●歳出

総務費は、財政調整基金への積立金が前年度より増加したことなどにより、全体で31.2%の増となりました。

民生費は、10.4%の減、衛生費は44.0%の減となりました。

東栄診療所・保健福祉センター整備事業に係る繰出金が減少したことなどが影響しています。

土木費は、奈根住宅の長寿命化改修工事、また、下水道事業の公営企業化に伴い繰出金が増加したことにより43.7%の増となりました。

教育費は、小中学校の長寿命化計画策定業務などにより、4.0%の増となっています。

